

## 令和4年度 安全報告書

### ○ 取り組み計画・運営状況

#### 運輸の安全に関する基本方針

- (1) 安全確保の最優先がバス事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同が安全確保に最善の努力を尽くす。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。
- (3) 安全管理体制を適切に維持するために、安全対策を不断に見直し、確認を励行する。
- (4) 輸送の安全に関する情報については、積極的に公開する。

#### 輸送の安全に関する重点施策

- (1) 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規定に定められた事項を遵守する。
- (2) 事故防止に資する車両及び設備等は効率的かつ効果的に、事前に整備を行う。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置または予防措置を講じる。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達し、共有する。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施する。

#### 輸送の安全に関する目標

- (1) 人身事故0件を目標とする
- (2) バック事故2件以下を目標とする
- (3) 有責事故件数3件以下を目標とする

#### 輸送の安全に関する計画

- (1) 安全が最優先であることへの意識を高める。  
日々の点呼から安全がなによりも優先であることを伝達し安全第一に努める。
- (2) 乗務員の育成  
乗務員を育成することで、指導員（教育者）は違う角度から危険箇所等を見直すことができる。そして、乗務員へ改めて復習を兼ねて危険箇所等の伝達を行う。
- (3) ドライブレコーダーの活用  
ドライブレコーダーの映像を用いて教育を行い、乗務員全体で危険箇所等の意識を高める。

○ 取り組みの評価・実施状況

(監査対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

取り組みの実施状況

- (1) 乗務員の指導・教育時に各乗務員と直接話すことで安全に対する意識が今まで以上に高まっている。
- (2) 乗務員を教育することで、他の乗務員への刺激となり、より一層の安全への意識が高まった。
- (3) ドライブレコーダーの映像を用いて教育を行うことで、乗務員の危険感受性が高まった。
- (4) 健康診断の結果を基に正常値の数値と比較し、問題がないかを確認している。健康への取り組みや食生活が若干変わってきているように感じられた。

輸送の安全に関する目標に対する達成状況

- (1) 人身事故0件を目標とする(令和4年度 0件) 目標達成
- (2) バック事故2件以下を目標とする(令和4年度 0件) 目標達成
- (3) 有責事故件数3件以下を目標とする(令和4年度 4件) 目標未達成

○ 監査結果を踏まえての評価・改善策・今後に向けた取り組み

令和4年度の総括として、有責無責問わず9件の事故が発生した。貸切バスの稼働率は31.4% 前年比199.4%だった。貸切バスの事故に関しては有責事故2件、無責事故3件。乗合バス・タクシーの事故に関しては有責事故2件、無責事故2件発生。

貸切バスの有責事故は、2件とも側方の確認不足による接触事故だったため、令和5年度は輸送の安全に関する目標として側方確認不足事故2件以下を追加した。

コロナ禍の脱却により、貸切バスの稼働率が高くなることが予想されるが、引き続き輸送の安全の確保が最優先であることを徹底し、お客様の安全確保を第一に考え、安全輸送の意識を向上させる。

令和5年4月1日

中鉄観光株式会社

代表取締役 藤田祥江

安全統括管理者 石坂政美

